

## 第45回 船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：令和2年2月13日（木）

10:00～11:30

場 所：船橋市役所9階 第1会議室

出席者：別添名簿参照

事務局	事務局連絡
	1. 開 会
	2. 議事及び報告
議 長	ただいまから、第45回船橋市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。この会議につきましては、会議運営規程第2条第一項に基づき、公開することといたしますので、よろしくお願いいたします。 それでは一つ目の議事として、「平成31年度交通不便地域解消事業の実施状況」について事務局から説明願います。
事務局	〈事務局より説明〉【議題1】
議 長	はい。ここまでご質問ご意見等よろしくお願いいたします。
委 員	はい。
議 長	お願いします。
委 員	再三にわたって、いろんなお話を承っておりまして、だいぶ改善されたということで非常に嬉しく思っております。小型バスの運行について、いつ頃の予定なのか、教えていただきたいと思えます。以上です。
議 長	お願いします。
事務局	時期ははっきりしてないですが、今後バス事業者と警察と協議をしまして、1回試しに運行をしなければならないと思っています。それについて今後協議をして参りたいと考えております。以上です。
委 員	議長。
議 長	お願いします。
委 員	試し運行の日程とはどれぐらいの予定ですか。だいたいの予想で結構なんです

	けど。
議 長	お願いします。
事務局	早い時期にやりたいと思っております。具体的にまだ何も決まってないですが、次の協議会前後までには何とか形になるよう考えて参りたいと思います。以上です。
議 長	具体的に、運行するとなると、どういう調整が必要でしょうか。
事務局	実際にバスを持ってきて、その場所で試しに走らせてみるということが必要になります。事業者さんからバスをお借りして、バス事業者と警察に確認していただいて、ここが路線バスの運行として、可能な道路なのかを確認してもらう必要があります。その調整が必要となります。以上です。
議 長	はい、お願いします。
委 員	度々で恐縮です。できるだけその辺を早めにお願ひしたいなと思ひます。我々の方もだいが長く待っていますので、ぜひ小型バス化をお願ひしたいと思ひます。以上です。
議 長	はい。ありがとうございます。他にご質問ご意見ございますか。 はい、お願いします。
委 員	この主たる原因というのは、道路事情にあるのか。要は収支率が57%ぐらいで利用客が少ないけれども、一方で乗り残しがだんだん減ってきたとはいえ、乗り残しがある状況という原因はバスの大きさなのか、それとも道路事情が何かあるのか。ちょっと確認しておきたいのですが。
議 長	ありがとうございます。
事務局	推測なのですがけれども、今のバスというのがワゴン車の車になります。定員が決まっておりますして、立って乗ることができなく、必ず着席が必要になることから、13人乗りということになっています。路線バスの小型バスの場合ですと、立って乗れるバーがありますので、36人程度乗れることになります。道路につきましては、車両制限令という法律がありまして、その中で、小型バスを走らせるには5.5mの公道である必要がありまして、現状では幅員がとれてないという状況です。積み残しに関しては小型バスを導入することによって、解消することが可能となります。 その中で、積み残しが減っているというのは、乗車をだんだん諦めているのかなというところもあるので、実際にはもう少し乗りたいという方はいらっしゃる

	<p>のかなと思っております。そこで、バスを大きくすることで、この問題を解消できるのではないかと考えておりますが、何分、道路が狭く、小型バスを運行するにはなかなか難しい道路であります。</p> <p>その中で若干なりとも今回拡幅の工事ができたので、それに対応できるかどうかを調査したいと考えております。以上です。</p>
議 長	はい、どうぞ。
委 員	<p>道路上の問題を解消できる方向性というのはあるのでしょうか。何か道路事情があるために、小さなクルマしか走らせられない、小さなクルマだから乗り残しが出てきてしまうということは、潜在利用者というのは、結構見込めるのではないかと。その結果、この収支率が57%ぐらいなのだけれども、どういうふうにしたらこの収支率も含めて改善できる方向性はどのようなのでしょうか。何かご検討されているのでしょうか。以上です。</p>
事務局	<p>前回、一回り大きいバスを走らせたときに狭い箇所があり、ここを広げない限りは難しいというところが、用地をお借りしてから広げることができたので、それが去年の10月できたので、試しに大きなバスを走らせてみて、どんな障害が出てくるのかということ一度やりたいと思っておりますので、それを早急にやらなきゃいけない時期に来ているのかなと思っております。</p> <p>解決の方法としては一回り大きなバスを走らせることが解決に繋がるのかなと思っております。</p>
議 長	それは、先ほどおっしゃった法令との関係では問題ないのですか。
事務局	正直言いますと5.5mに達してないところはまだあると思うのです。その辺をいかにクリアしていくかが法令等の問題になってくると思います。
議 長	<p>他にご意見はありますか。</p> <p>はい。この田喜野井地区については引き続き検討調整をしていくということでよろしく申し上げます。</p> <p>他に特にご意見等なければ、次の議題に入りたいと思います。</p> <p>二つ目、「令和2年度の公共交通不便地域解消事業」について事務局よりご説明申し上げます。</p>
事務局	〈事務局より説明〉【議題2】
議 長	<p>ご質問、ご意見お願いいたします。</p> <p>はい、お願いいたします。</p>
委 員	現在こういった、実施中の不便解消事業は結構なんですけれども、その後人口

	<p>流動等を踏まえて、ここが非常に不便な地域だというような声というのは市内からは起こっていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>そういう声はいただいております。ですから交通網計画の見直しが必要ではないかというところに繋がりまして、今年度から策定しております公共交通網形成計画の中で見直しも含めて、今日の議事の六番目のところでお話をさせていただければと思っております。</p>
議長	<p>他にはご質問とかありますか。</p> <p>はい。よろしいですか。それではお諮りいたします。「令和2年度の公共交通不便地域解消事業」について、ただいまの事務局の説明のとおり、この3路線について、令和2年度も引き続き、本格運行を行うということでご異議ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>そのように決定いたします。ありがとうございました。</p> <p>それら三つ目の議題です。「平成31年度船橋地域公共交通活性化協議会の予算流用」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉【議題3】</p>
議長	<p>この点について何かご質問ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは次の議題に入ります。四つ目です。「令和2年度船橋市地域公共交通活性化協議会の予算(案)」について事務局よりご説明願います。よろしく願います。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉【議題4】</p>
議長	<p>予算が確定する補助金が確定する前ではあるけれども、早期の発注をしたいということについて、併せてお謀りをするということになります。</p> <p>それでは、ご意見ご質問等よろしく願います。</p>
委員	<p>はい。</p>
議長	<p>お願いします。</p>
委員	<p>一つだけ確認をさせていただきます。前年度の決算を見ますと、事務局運営費で補正などを組んでいますけれども、今回も、前年度と当初予算は同額で組んでいますけれども、この辺は大丈夫なのでしょうか。</p>

事務局	<p>基本的には結構厳しいと思っております。これは予算額につきましては市の内部調整をした段階での予算となっております。事務経費につきましては、前年並みということで、ちょっと予算を抑えられております。その関係でこのような予算組みとなっておりますが、実際には委員がおっしゃるようになんて厳しいのが今の実情でございます。以上です。</p>
議長	<p>そうですね。足りないことがないようにしないとイケませんね。あと、国からの補助金が入ってくると、市の負担金が変わるのでしょうか。</p>
事務局	<p>市の負担額はそのまま浮く形になりますので、おそらく市の会計の方に戻すという形になるかと思えます。以上です。</p>
議長	<p>ほかにご質問をお願いします。はい。</p>
委員	<p>総務費の中の需要費、文具と図書費は、どのようなものですか。文具は消耗品だと思うのですが、図書費はどのようなものですか。</p>
事務局	<p>参考書とかを買う形になるのですが、実際にはこの協議会の予算から買っているわけではなくて、必要な図書につきましては、道路計画課の予算で購入している部分がございます。以上です。</p>
議長	<p>はい、他にご質問、ご意見等いかがでしょうか。  今、予算についてのご質問等がありましたけれども、もう一方の委託費の範囲内で契約手続きを早くする、ということについても併せてお謀りいたしますので、もしご質問等あればよろしくをお願いします。  はい。よろしいでしょうか。それではお諮りいたします。まず「令和2年度船橋市地域公共交通活性化協議会の予算（案）」について、ただいまの事務局の説明でご異議ありませんでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>はい、それからもう一つ、地域公共交通網形成計画の素案の作成事務の早期発注、契約等の手続きについても、よろしいということですか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>はい、決定しました。ありがとうございました。  それでは次の議題に入ります。五つ目です。「法定協議会」について事務局よりご説明願います。</p>

事務局	〈事務局より説明〉【議題5】
議長	はい、それでは本件についてご質問ご意見をよろしくお願いいいたします。 確認ですけど鉄道事業者の方々にご参加いただくことと、経済部長を加えるということですけど、鉄道事業者というのは具体的にはどういう形で参加いただくのでしょうか。
事務局	現在、市内には鉄道事業者が7社ございまして、全ての会社が入っていただくか、または、そのうち何社か入っていただくか、という形になるかと思えます。以上です。
議長	それはこれから検討ということですね。わかりました。他にご意見ご質問等よろしくお願いいいたします。 よろしいですか。 それではお諮りいたします。ただいま事務局から説明がありました通り、協議会の委員を追加し、「法定協議会」としての機能を追加するということについてご異議ありませんでしょうか。
委員	異議なし。
議長	はい。それでは、このことについて承認いただきました。ありがとうございました。 六つ目として、「平成31年度船橋市地域公共交通網形成計画策定調査業務の報告」について、事務局より説明願います。
事務局	〈事務局から説明〉【議題6前半】
議長	はい。ありがとうございました。ここまででご質問ありましたらよろしくお願ひします。
委員	はい。
議長	はい、どうぞ。
委員	今のアンケート調査の内訳を少し伺いたいなと思ひまして質問させていただきます。まず事業者からどのぐらいの事業所でアンケートをとったのか、またこの市民の方からのアンケートについては約何名ほどの方にアンケートを依頼したのかという内訳を伺いたいと思ひます。
議長	お願ひします。

事務局	<p>まず市民の方へのアンケートにつきましては、先ほど報告させていただきましたとおり、市民アンケート配布数が6000票配布させていただきました。市内各地域、まんべんなく回答いただけるように広く6000票配付いたしまして、現時点で1649票回収しているという状況です。あと公共交通利用者の方に、バス停乗り場などで配布させていただきました、2000票配布をして回収数は440票ということでございます。今日は速報値としてご紹介いたしましたので、また最終まとめをしていきたいと考えております。</p> <p>あと事業者様のヒアリング、アンケートをさせていただいたのですが、アンケートにつきましては、市内の鉄道全社と、路線バス事業者様全社に配布しまして、全社様からご回答いただいております。あとタクシー事業者様につきましては協会側の方にご意見をいただいております。その内2社様については、訪問ヒアリングをさせていただいたというところなのですが、訪問ヒアリングにつきましては、今後も継続してやっていきたいと思っております。以上でございます。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>ありがとうございました。前回の会議でアンケートについては、事業所はもちろんなのですが、そこで働く労働団体側からもぜひアンケートをとってほしいというような要望をさせていただきました。なぜかという、今のご説明にあったように、船橋市の公共交通網は民間事業者に依存している公共交通網であって、そこで働く者の労働集約型の産業だとバスは言われていて、人が居ないと走れない現実があって、ここに問題として現状として書かれている乗務員不足の問題が深刻になっているというところで、やはりそこで働く者が離職をすると必然的にこの公共交通網が脆弱なものになってしまうということですから、現状を把握するうえで、意見も聞いていただきたいというのを前回要望させていただきました。今後、またこの調査の中間報告ということですから、その辺の依頼をしていきたいということで、よろしく願います。</p>
事務局	<p>はい、わかりました。アンケートの方お願いしたいと思っておりますので、ぜひ協力の方お願いしたいと思っております。</p>
議長	<p>はい、その他いらっしゃいますか。</p> <p>よろしく願います。</p>
委員	<p>ただいま報告がありました中でそうなのかというような感じがあります。最初の説明の中で人口が減少傾向というような報告がありました。新京成の三咲駅の近くに住んでおり、もう何十年住んでいるわけなのですが、梨畑、普通の畑がだんだんなくなりまして、今現在でも20~30戸の低層住宅が非常にできておりまして、増えているのかなと思っているのです。また、買い物は市内が多いというような報告があるのですが、新京成より北側の方は、近くの八千代のイオンだとか、</p>

	<p>千葉ニュータウン、あと新鎌ヶ谷の方へ買い物に行くのですよ。どうして南の船橋の方へ来ないかという、報告でありましたように、バスが渋滞しまして、通常であれば40分ぐらいで北口に着くのですが、非常に時間がかかるというようなこともありまして、先ほど申しましたように、市外の方に買い物に行くというような傾向にあります。</p> <p>もう一点、三咲駅はご説明のとおり、アンデルセン公園の最寄りの駅でございます。これから、春になると土、日はお客さんが非常に多いのですが、先ほど待合施設の不備というような報告がありますがけど、確かに混雑時は駅の階段登って改札口まで列ができることがあります。その一方、通勤通学の人もいるわけですが、非常に混雑がすごいですね。新京成は駅広がない駅が多い、二和向台駅にしても、三咲駅はバス2台がようやく待機できる広さで非常に駅広場が狭いということで、そういった状況下にあるのでね。説明を聞いて感じたことをちょっと述べさせていただきます以上です。</p>
事務局	<p>まず、バス利用者の問題点としては、定時性の確保というところがやはり時間が読めないというところであると思います。バス利用者の意見としてかなりの占める割合なのかなと考えておりますので、定時性の確保のためにはやはり市内の渋滞をなくさないといけないというところで考えています。まず、バスを利用してもらうには、定時性の確保というのを第一に考えているところでございます。あと先ほど三咲駅で、アンデルセン公園に行くためには重要な駅前施設で、新京成電鉄とバスとの交通結節点としては重要な箇所だという認識はございます。今、三咲の駅前は鉄道会社が管理している広場です。そこをいかに交通結節点として、強化していくかということになると、やはり市側の努力も必要なのではないのかというところでございます。あと、二和向台駅の広場につきましては、ロータリー広場という形での考え方はありますので、どちらかと言うと二和の方が早く、交通広場としての機能は設けられるのかなと思っております。</p>
委員	<p>二和の方が早いというのは、元国有地が関係するのですか。</p>
事務局	<p>用地を確保できているという観点からは、二和向台駅の方が早いかなとは思いますが。ただ、どの交通結節点を強化していくかというのは、来年度以降の素案の策定の中で、検討していきたいと思っております。同時に何力所もできるわけではないので、優先順位を決めてという形で進めていきたいと考えております。以上でございます。</p>
議長	<p>他にご質問等は。 はい、お願いします。</p>
委員	<p>この後に方向性や課題という方向に行くかと思うのですがけれども、バス事業者として出てきている意見に、どんなことをやっているのかということが、もし参考になればということでお話を少しさせていただければと思っております。</p>

我々事業者からのアンケート、ヒアリングの結果として、最大の課題は運転士の不足がこの都市部においても、非常に深刻な問題になってきているというのが一番の大きな問題です。その中でいろいろご意見をいただいている、例えば定時性の問題をどう確保していくのか、であるとか、その中で利用しやすいバスの乗車環境をどう作っていくのかということ、日々頭を悩ませているところですが、事務局の方からの御報告がありました資料の中で特徴的なのは、市内の主要な道路の平均速度みたいな資料が確かスライドで出ていたかと思うのですが、道路の中で主要幹線道路、ほとんど赤い表示です。この赤くなっているところがおおよそ通常皆さんがイメージされる大型の路線バスが走っている道路とほぼ合致するわけなのです。なので、先ほどあった、例えば、三咲駅の方から船橋駅の北口まで新京成バスになろうかと思いますが、通常40分で行けるとところが倍の時間かかる。これは南側を走っているバスであっても、例えば船橋駅と西船橋駅の間、国道14号を走るところで非常に大きな渋滞がある、という状況になっています。一方で近隣ではありますけれども、市川市内から松戸にかけて、外環道が開通した効果があって、市川駅と松戸駅を結ぶ路線バスあるのですけれども、非常に走行環境がよくなって、渋滞がなくなって定時性が保てるようになったことで、お客様が戻ってきた、利用者が増えた、こういう事例もございます。定時性が上がれば、バスの信頼度が上がって利用していただけるということはあるのだというふうに、我々も実体験を持って認識はしています。ただ、船橋市内において道路環境が劇的に変わる要素が今後、見込めるのかということも、今後の課題の一つかと思うのですが、なかなか現状では難しいのではないかと思います。その中で事業者が何をできるかという、定時に走れるようにバスの所要時間を延ばしましょうと。渋滞することを見越して、所要時間が例えば今40分で引いているところを極端に言えば60分の所要時間にする。こういうことをやっていかないと、時刻表に対する信頼度は上がりません。ただその一方で、先ほど申し上げた最大の課題で、運転士がいない、なり手が不足している、そういう中でどうやって所要時間を延ばすかという便数を減らすしかなくなってくる。そういう状況が今後起こり得る中で、乗っていただける信頼度の高いバスネットワークを、どこに優先順位を置いてどういうふうにネットワークを構築していくのか。その一方で、もう一つ課題だと案内の分かりやすさという部分は、事業者の努力、他の事業者との連携含めて対応していかなくちゃいけないことかなというふうに感じています。そういう双方から船橋市内の交通網ネットワークの利用しやすさというところが、今後の方向性に活かしていければいいのではないかなというふうに思っています。ちょっと難しいことかもしれませんが、以上でございます。

議長

ありがとうございます。  
他にありますか。はい、お願いします。

委員

事業者さんの立場からですと、運転手の確保が非常に難しいと。そういう中で、定時性を上げるということも難しいということが先に言われてしまうと、市民と

	<p>いう立場から言いにくいのですが、実は私どもよく市民の声として、従来路線バスがあったのにそれが廃止されてしまったために、特に高齢者は難儀しているという話を聞きます。しかも船橋は坂のある町で有名なのですが、特に私どもが住んでいるところは坂が多い。そのために高齢になるほど、歩くのが難儀であり、鉄道なりバス停なり距離が300mあると、若い人だったらひとつ走りということになるのだろうけれども、高齢者が坂道を300m歩くというのは難儀なのです。そういう中で、八千代市のようにコミュニティバスがあればなあという声をよく聞くのです。やはり高齢化がどんどん進んでいく中で、色々な事業者さんの課題の中で、バス路線もむしろ少なくなっている結果として、高齢者の移動というのが難しくなっている。こういうものがあるということを、検討の前提として十分、考えたいと思うし、令和3年度を初年度として10年先を展望した船橋の総合計画がまとめられる。令和2年度は最後の年になっているので、こういう中にも、やはり10年後のこういった交通事業を船橋はどう考えているのか、どういうふうにランドデザインを書いていったらいいのか、この辺もぜひ行政としても考えていただきたい。こんなふうに思います。以上です。</p>
議長	はい、どうぞ。
委員	発表で報告にもありましたけど、広いエリアで高齢化率が進んでいく状況の中で、どういうふうに公共交通網確保していくのか当然、最も重要な課題だと思いますので、きちっと検討していただけないかと思います。
議長	はい。
委員	今委員の方からお話があった、追加みたいな形なのですが、皆さんご存知の通り三田、三山それから、田喜野井というのは、非常に交通不便なところというイメージが非常にあります。この地区は、渋滞もさることながら、やはりバスの必要性が非常に高いところです。その辺を含めまして、今、他の委員が言われたように、この地区は交通不便地域の最たるところであるというふうに感じておりますし、高齢化率が非常に高い地域でもありますので、その辺のところを十分今後の計画の中で取り入れていただきたいというふうに思っております。以上です。
議長	ありがとうございました。 他にご質問等ありますか。
委員	はい。
議長	はい、お願いします。
委員	今たくさんご意見が出ておりますのを伺っていて、やはり船橋の特徴としては

南部とか西部の基本的には公共交通サービスが高い地域ですけれど、その中に不満があるというところの一番は渋滞の定時性の問題だと思います。この問題は非常に難しい問題で、抜本的にはもう道路をしっかりと作るしかないのですが、それは非常に時間がかかるし、大変なことであるということで、ただそれを避けては通れないので、ぜひその今後の道路計画というか都市計画を、こういったものがどうなっているかということもしっかりと見据えて、それに合わせてバスの路線を考えていく必要があるかなと思っております。

もう一つ、今の都市計画から言えば立地適正化法のような、まちづくりの方向性ですね。これもしっかりと整理した上で、立地適正化法にはコンパクトプラスネットワークということがありますので、ちょっと厳しい言い方をすれば北部の方とかはコンパクトに集約をして最低限の移動のサービスモビリティを確保する方向にしていかなければ、なかなか全域に対して、質の高いネットワークを維持していくのは難しいだろうということを考えて聞いておりました。なので、そのあたりの都市計画というか、将来のまちづくりの方向性、これについて、しっかりと整理していただいて、それに合った方向性という計画を作っていただきたいなというのが思ったところです。

2点目は、途中でパーソントリップの中で外出が減っているというお話がありましたけど、我々の交通の分野では非常にショッキングな事なのですね。要因は通勤通学者が減っているということが、一番の大きな要因ですけど、あとは買い物もネットショッピング等が出てきて、外に出なくても欲しいものが買えるようになってきているところもあります。とは言いながらも、街としては、外に出ていただいて、高齢者の方々にもたくさん外に出ていただきたい。それによって健康な生活を送っていただけるのではないかなと思っています。そう考えると、外出目的、外出先を積極的に作ってあげるということも重要なのではないかなと思っておりまして、そのための仕掛けというものも、この公共交通だけ考えたら、不足だろうと思うのです。それによって外出先が増えれば外へ出て行って、そしてそのときに公共交通を使って来てもらえる仕掛け、仕組みというものを作っておけば、好循環になりますので、そういった循環を作るべきと思っております。そのあたりもぜひ考えていただきたいなと思っていますので、何が言いたいかというと、その地域側、施設側との連携というのをしっかりと考えていただきたいなということです。その一つが先ほどありましたアンデルセン公園なのですが、やはり、ちょっと細かな話をしますけど、やはりバスがバス停のところできっかりと方向とか、そういうものができてないというところはやはり大きな問題かなと思ってまして、アンデルセン公園が楽しいところということはもう全国に知れ渡っているの、それに対して行く間もワクワクするような感じで、一つ例を挙げればディズニーリゾートラインなんて、新交通に乗っただけでディズニーリゾートに来たという雰囲気になるわけですね。こういうようなバスであれば、バスに乗ること自体も楽しいという子供たちがバスに乗ってくれるということになりますので、そんな仕掛けというのも必要なのではないかなと思っています。あと今の外からの来訪者の件でいうと、船橋アリーナも、ぜひ加えたらどうかと思っておりまして、全国からたくさんの方が来られて、ただ移転という動きがあると

	<p>いうのを聞いていますけど、まだ時間かかりますので、それに関して言えば新京成電鉄さんがラッピングしたりして雰囲気盛り上げ、来た方が、地元のアリーナの近くに来たのだなということが分かる仕掛けをしていますので、そういうようなこともバスとかでできればなということを思っていました。そこら辺が大きなところですが、先ほどちょっと話を戻してしまいましたが、渋滞等でなかなかサービスを上げることが難しいということですが、それをいかにやっていくかということが本当に大きな課題だと思っていて、それには先ほどありましたけど、この法律、地域活性化法の法律が改正されるということで、それにはいろんな新技術だとか、色々な制度の改革というものが盛り込まれていますから、それも見据えて、ぜひソフト対策、運用対策でやっていくしか短期的にはありませんので、短期的なところで何ができるかというところを積極的に検討いただきたいなと思ったところです。意見を述べましたので、ぜひ今後に向けての課題が今回明らかになりましたので、だいたいわかっていたことが明らかになったというところですけど、それを徹底し、形できるような計画の内容になることを期待して発言をさせていただきました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。ちょうど今後の話になってきたので、続いて今後に向けた課題についてお願いします。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉【議題6後半】</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。 ご意見ご質問と引き続きありましたらよろしくお願いします。</p>
委員	<p>はい。</p>
議長	<p>はい、お願いします。</p>
委員	<p>先ほどから、これまで話をしたこと、今後に向けた取り組みということで両輪からなるのですけれども、先ほどから渋滞、定時性確保ということが最重要ではないかという話が出ていたところなのですけれども、前回の会議の中で、その調査方法について、ご質問をさせていただいたのですけれども、そのときのいただいた回答が、道路交通センサスによる調査ということで、事務局の方からお答えをいただいたのですけれども、前回の会議の中でそれではちょっと不十分なのではないかということで意見を述べさせていただきまして、事務局の方でも検討いたしますということであったのですけれども、今回この渋滞の調査に関しては、他に交通センサス以外で調査というのは何かしたのでしょうか。</p>
事務局	<p>データとしての整理につきましては道路交通センサスでございますが、あと事業者さんへのアンケート、ヒアリング等でどういったところで遅れが生じているかということ、慢性的な交通渋滞が発生して、定時性の課題があるというところ</p>

	<p>ろをヒアリングで把握させていただいて、ちょっと補っているというところでございます。現時点ではパソコン上でございます。</p>
議 長	<p>はい、お願いします。</p>
委 員	<p>はい。ありがとうございます。そういたしますと、先ほどから出ているその定時性の確保、渋滞対策ということで非常にバスの利用者の確保について重要な部分を占めているという見解でしたので、そういった意味では道路自体は当然大幅に改善というか計画を立てて、改良していかないと、抜本的な改革、改善というのはできないのかもしれないのですけれども、そういった中でも、きめ細かく調査、交通事業者、あとは現地調査などすれば、改善できるような内容もあると思うのです。そういった意味では、今後の方向性といたしましても、まず現状の把握という意味で、どういったところで渋滞して、どういう要因で渋滞しているかということを中心にまずは把握するというのは重要だと思いますので、もう少しその辺をちょっと調査していただければと思うところです。もう一点、今後に向けた取り組みということで、集客回遊性向上ということ。来客へのPRということなのですけれども、先ほどアンデルセン公園の話とか船橋アリーナの話が出たのですけれども、船橋新京成バスが船橋駅からアンデルセン公園に直通のバスを運行。アリーナ線でいうと、千葉ジェッツふなばしの試合開催日には、専用のバス直行便を走らせていまして、その中で選手の方の放送をしています。多分そういったところが事業者としてPR不足というところもあるのでしょうか、来客の皆様とか、こちらにいらっしゃる委員の方々でも、まだご存じないという方がいると思います。事業者だけでは、なかなかPRするというところも限界がございますので、今後の計画、方向性ということで、市の方でもそういったところと一緒にやっていただければと思います。意見を述べさせていただきました。ありがとうございました。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。確かに知らないかもしれませんね。そういうアピールも一緒にやっていけたらなと思っております。</p> <p>すいませんちょっと時間も押してきましたので、今回の八千代エンジニアリング様の現状の課題分析と今後の方向についての説明はこれで終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>次が議事に移ります。次に「令和2年度の船橋市地域公共交通網形成計画策定業務」についてですけれども、来年度の委託契約に関する事項になりますので、八千代エンジニアリング様にはここでご退会をお願いします。どうもありがとうございました。</p>
議 長	<p>はい。それでは議題七つ目、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉【議題7】</p>

議 長	<p>今事務局から説明がありましたとおり、本市の問題点、課題を把握していることもあり、早期に対応が可能であることから、来年度の策定業務も八千代エンジニアリングにお願いしたいというのが事務局の考えのようですが、ご異議ありませんでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
議 長	<p>それでは、「令和2年度の船橋市地域公共交通網形成計画の策定業務」については、八千代エンジニアリング株式会社に引き続きお願いしたいと思います。      ありがとうございました。      では、最後になりますが、その他の今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>〈事務局より説明〉【その他】</p>
議 長	<p>その他について、何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。      よろしいでしょうか。      委員の任期につきまして、引き続きお願いしますとの話がありました。よろしくをお願いします。</p> <p>はい、それでは以上をもちまして、第45回船橋市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。長時間にわたりどうもありがとうございました。</p>